

品番	LGB52030KLE1 (1灯相当 昼白色)	LGB52040KLE1 (2灯相当 昼白色)
	LGB52031KLE1 (1灯相当 電球色)	LGB52041KLE1 (2灯相当 電球色)
	LGB52032LE1 (1灯相当 温白色)	LGB52042LE1 (2灯相当 温白色)

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(1~2ページ)を必ずお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ この説明書は必ずお客様にお渡しください。施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

してはいけない内容です。

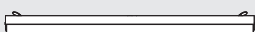
実行しなければならない内容です。

警告

■天井
平面部
100×150mm以上



■配線器具



■壁スイッチ



■天井

必ず守る ●必ず上図のように平面部が100×150mm以上の天井に取り付ける落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けられない落下によるけがのおそれがあります。



●傾斜した場所に取り付けられない
火災、落下によるけがのおそれがあります。
◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。がたつき・破損



●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。出しろの少ないもの

19mm未満



丸型フル引掛シーリング
角型引掛シーリング

10mm未満



引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット



禁止

斜めに取り付けられたもの



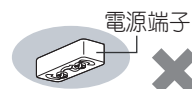
シーリングハンガーが取り付けられたもの
シーリングハンガー



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(交換には資格が必要です。)

警告

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



- ◎調光器の取り外しが必要です。
(取り外しには資格が必要です)

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

- アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 取付板は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



必ず守る

注意

- 照明器具には耐用年限があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています
点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中)に基づき自主点検してください。
点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。



必ず守る

- お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- 灯具を確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。



接触禁止



水ぬれ禁止



禁止

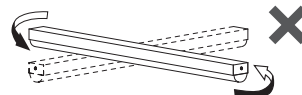
- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

- 施工後、器具を回転させない
器具破損の原因となります。

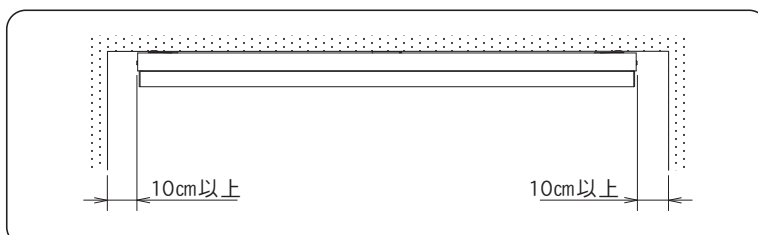


施工前のご確認事項

- 必ず壁スイッチを設けてください。
点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は、1回路につき3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

取付位置のご注意

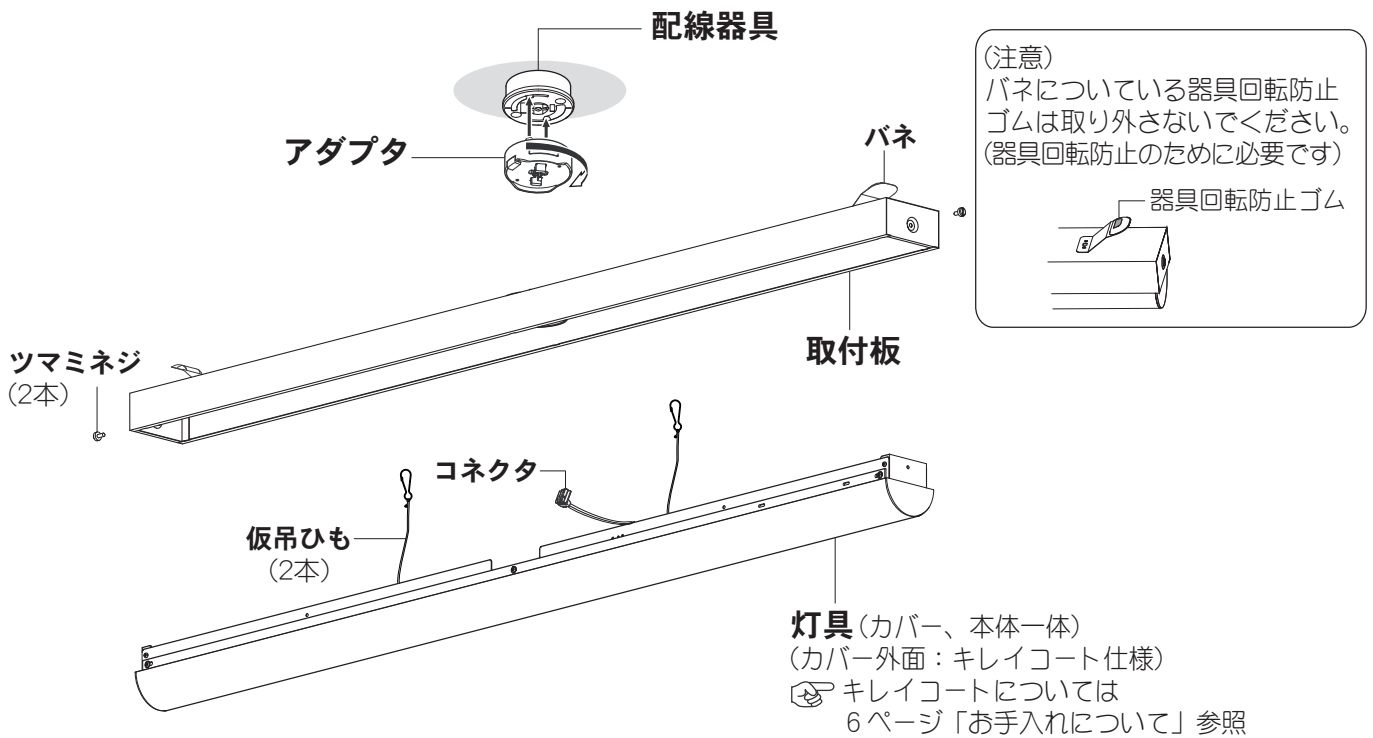
- 下図の通り、器具の両側に距離があることを確認してください。
指定距離より狭い場合は、器具の取り付け・取り外しができなくなります。



各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

●下記 (取り付け前の準備) を参考に器具を下図の状態にし、施工を行ってください。



本体取付用付属部品

<input type="checkbox"/> アダプタ (1個) 補修品番 NZ2717M 取付板内面にテープ止めされた状態で梱包されています。	<input type="checkbox"/> 配線器具 丸型フル引掛シーリング (1個) 	<input type="checkbox"/> 引掛シーリング用木ネジ (2本)
--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------

●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください

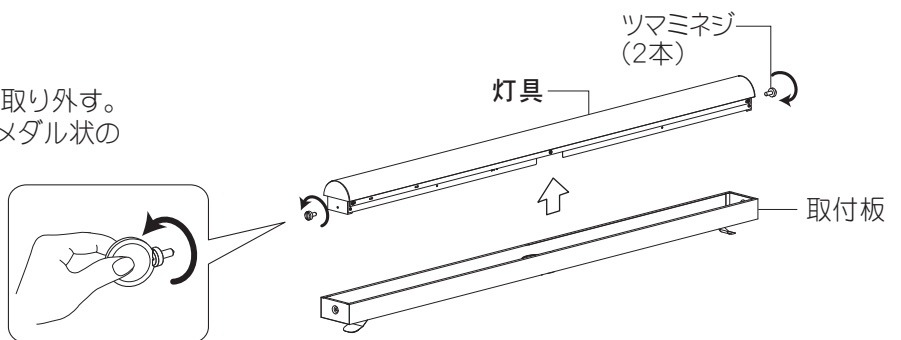
照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

灯具を取り外す

- ① ツマミネジ(2本)を取り外し、灯具を取り外す。
ツマミネジが取り外しにくい場合は、メダル状のもの等を使用してください。
- ② アダプタを取付板から取り外す。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け方

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ **2** の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。
※ローゼットへの取り付けで取付金具(ハンガー)部に既設器具などのネジが付いている場合は取り外してください。
◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。
※工事には資格が必要です。

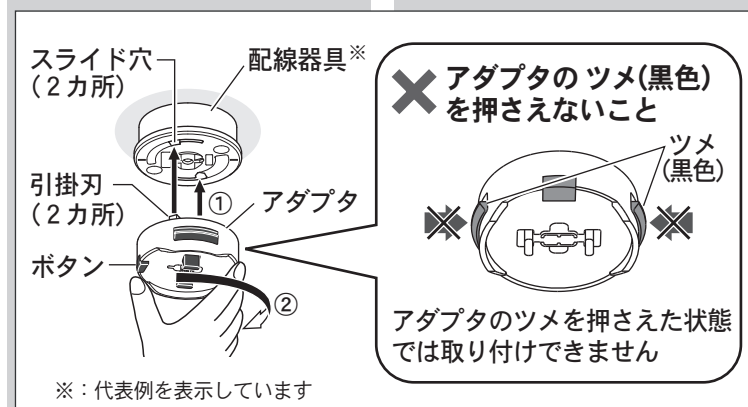
天井からの出しろが 22 mm の配線器具		天井からの出しろが 11 mm の配線器具
丸型フル引掛シーリング WG5005 WG5015	丸型引掛シーリング WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	引掛埋込ローゼット WG6000 WG6420 WG6130
フル引掛ローゼット WG6005	角型引掛シーリング WG1000	引掛埋込ローゼット(ハンガーなし) WG6001WK

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

- ①位置を合わせる
引掛刃(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる
- ②カチツと音がするまで
アダプタを右に回して取り付ける

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

警告 アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

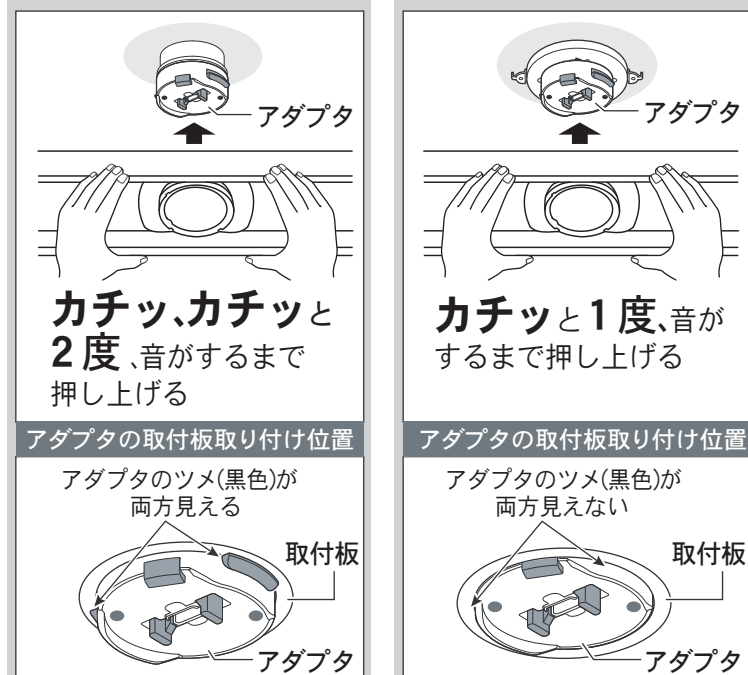


3 取付板を押し上げて取り付ける

アダプタに取付板の穴を合わせて押し上げる
※配線器具により取付板の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。
※取付板を水平にし、均等に押し上げてください。
※バネについている滑止防止ゴムは取り外さないでください。器具回転防止のために必要です。

確認
取付板を押し上げてアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
(1)アダプタを外す
◎次ページ「照明器具を取り外す」手順 **5** 参照
(2)再度、手順 **2** を行う

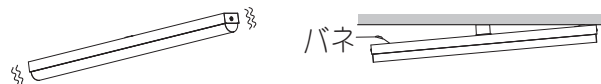
警告 取付板は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



4 取付板が正しく取り付けられているか確認する

・取付板がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

✗ 取付板がグラグラする ✗ 2本のバネが天井に付いていない本体が簡単に回転する



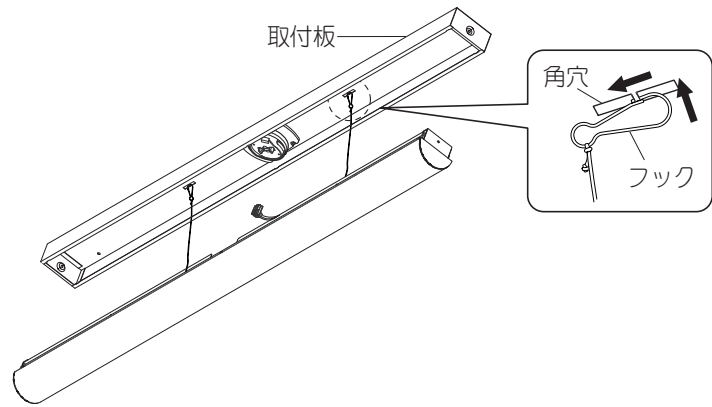
※ 上図の場合、正しく取り付けされていないので **3** を再度行ってください

5 仮吊ひも（2本）を取付板に取り付ける

仮吊ひものフック(2個)を右図のように取付板の角穴に押し当て、横に引く

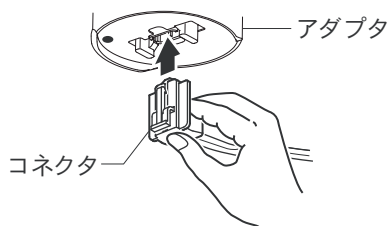
確認

フックが角穴に確実に取り付けられていることを確認する。



6 コネクタをアダプタへ差し込む

コネクタをアダプタに確実に差し込む

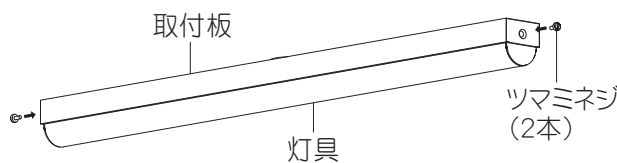


確認

- コネクタが差し込めない場合は取付板が正しく取り付けられていません。
→ 差し込めない場合は、4ページの**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。
- 取付板がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は
☞ 下記「照明器具を取り外す」**2** 参照
☞ 4ページ **3** 参照

7 取付板に灯具を取り付ける

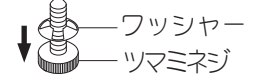
- ①灯具を押し上げて、取付板にはめ込む
- ②取付板と灯具の穴位置合わせてツマミネジ（2本）をメダル状のもの等を使用して確実に締付ける



確認

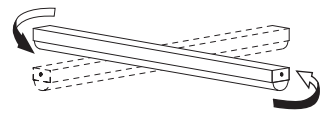
- 取り付け後、取付板と灯具の間に隙間がないことを確認する。

- ワッシャーが浮いている場合は戻してください



⚠ 注意

- ⊘ 施工後、器具を回転させない
器具破損の原因となります。



照明器具を取り外す

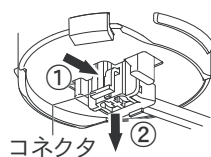
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 灯具を外す

☞ 3ページ 取り付け前の準備 参照

2 コネクタを外す

- ①つまみながら
- ②引いて、外す



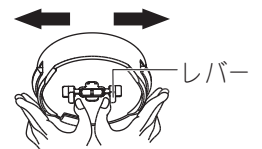
3 仮吊ひも（2本）を外す

仮吊ひものフック(2箇所)を取付板の角穴より取り外す

☞ 上記 **5** のイラスト参照

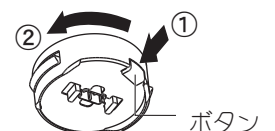
4 取付板を外す

取付板を支えながらレバーを矢印の方向(左右)に広げる
取付板をゆっくりと下げて外す



5 アダプタを外す

- ①ボタンを押しながら
- ②左に回す



お手入れについて

電源を切って、本体が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 灯具のカバーは取り外せません。

他の部位のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を石けん水に浸してよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

キレイコート部のお手入れ

- 汚れは、やわらかい布を水に浸してよく絞ってから軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

【キレイコートとは】

水や油をはじく効果のあるコーティングで従来素材よりホコリや油汚れが付きにくく付着した場合でも、容易にふき取れます。(注1)
(注1)すべての汚れに対応できるものではありません。
染料やタバコのヤニなどには効果がありません。

キレイコート
(カバー外面)

確認

- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
- キレイコート部(カバー外面)は、強くこすらないでください。また、水拭きの際は洗剤などを使用しないでください。コーティングはがれの原因となります。

ご使用に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でお取り替えは出来ません。
- キレイコートは経年劣化により、効果が多少減少します。(使用環境により程度は異なります。)

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。(保証とアフターサービスで品番が必要となります)

品番	仕様	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
<input type="checkbox"/> LGB52030KLE1 <input type="checkbox"/> LGB52031KLE1 <input type="checkbox"/> LGB52032LE1	1灯相当	AC100V	50/60Hz 共用	22.8W	0.23A
<input type="checkbox"/> LGB52040KLE1 <input type="checkbox"/> LGB52041KLE1 <input type="checkbox"/> LGB52042LE1	2灯相当			39.2W	0.40A

●LED照明器具の光束維持時間は、40,000時間(光束維持率70%)です。

■リサイクル 工具を使用しないで取り外せる部品(カバー、ガラスグローブなど)を分別して各自治体のルールに従って廃棄してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って、出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

